

# BEAMS 的 日本遺産 有松 の巡り方



日本遺産  
有松



BEAMS  
JAPAN

A BEAMS Guide to Arimatsu, Nagoya, a Japan Heritage Site

## 日本遺産 (Japan Heritage) とは？

日本遺産とは、文化財や伝統文化に対して、その歴史的経緯や、世代を超えて受け継がれている伝承・風習などを含め、それらをひとつの「ストーリー」として遺産に位置づけるもので、文化庁により認定と支援の取り組みが行われています。有松のまちが歩んできたストーリーは、2019年5月に、文化庁から日本遺産に認定されました。



### 日本遺産 STORY #72

#### 江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ~藍染が風にゆれる町 有松~

どこまでも広がる藍色の空の下、藍で染められた絞り暖簾が風にゆれる古い商家の落ち着いた佇まい。絞りの町「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの景観が今も静かに広がっています。「ほいもの 有松染めよ 人の身の あぶら絞りし 金にかえても」この歌を詠んだ「東海道中膝栗毛」の主人公の弥次さんは、絞りの素晴らしいに魅せられて手拭いを買いました。旅のお土産として、世界に知られている有松の絞りはいかがですか。四百年の歴史を持つ有松の江戸文化は、今も多くの人々を魅了しています。

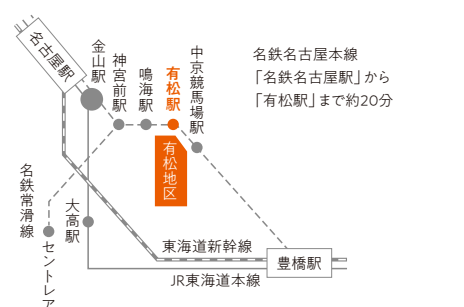
### EVENT INFORMATION

日本遺産・有松では、毎年、下記のイベントが予定されています。

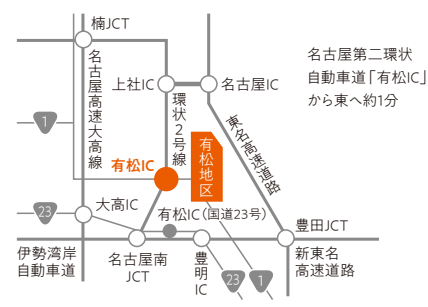
3月 第3日曜	有松天満社春季大祭・祈年祭	菅原道真公の命日の時期に合わせて行われる天神様のお祭り。五穀豊穡を祈る祈年祭も同時開催。
6月 第1土・日曜	有松絞りまつり	400年以上に渡り脈々と受け継がれてきた絞りの技が、東海道の町並みを舞台に披露されます。
10月 第1日曜	有松天満社秋季大祭・有松山車まつり	豪華絢爛な山車3輛(布段車・唐子車・神功皇后車)が、からくりを披露しながら東海道を曳行されます。
10月中旬~11月中旬	晩秋の有松を楽しむ会	有松の町並みに文化とアートが融合するイベント。生け花やお茶席、町家ライブなどが開催されます。

### ACCESS

#### 鉄道でのアクセス



#### 車でアクセス



本インプレットは、令和3年度文化庁文化資源活用事業補助金(観光拠点整備事業)で作成しました。

## BEAMS EYE Akimasa Sano



BEAMS JAPAN プロジェクトリーダー  
佐野明政

歴史的な町並みに、  
今もなお産業が  
息づく価値を

日本全国に歴史ある町並みは数多く残っていますが、その町並みとともに現在も産業が残っていることに面白さを感じます。有松・鳴海絞りは、“製品”を直接くって染める商品のため、1点1点に違った表情があり魅力的。現代のライフスタイルの中でも、画一化されたデザインではなく、不均等さから人の温かみを感じるデザインは相性がいいと思います。そして、三英傑(信長・秀吉・家康)を輩出した愛知・名古屋。徳川家康公がいたからこそ、有松・鳴海絞りが東海道を代表するお土産になった事実とともに、その歴史的背景も噛みしめながら町歩きを楽しんでみてください。

## BEAMS 的 日本遺産・有松の ものがたり

日本遺産・有松の町並みに、何気ない風景に、そのストーリーに触れて、BEAMSが感じる日本遺産・有松と、わたしのものがたり。



## BEAMS EYE Yuri Ota



BEAMS JAPAN チーフバイヤー  
太田友梨

町並みを歩く  
その先に、  
職人たちの  
喜びを感じて

現代の町並みの中を歩いてははずなのに、急にそこだけ空気が変わるような歴史ある町並み。タイムスリップしたような感覚になれる町が、名古屋の中心からそう遠くない場所にまだ残っていることに驚きます。町並みを象徴する“ありまつ”の暖簾も、同じように見えてそれぞれ(色や柄の)ニュアンスが違う。職人がひとめひとめを手でくりながら作り上げていく、くくって、染めて、糸を解いて…やっとのことで柄の全貌が見える。その瞬間は、職人の方にしか味わうことのできない特別な喜びではないかと、暖簾を見ているだけで想像してしまいます。

## 有松とは？

日本遺産・有松の認定名称は、「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地~藍染が風にゆれる町 有松~」。東海道約800mに沿って建ち並ぶ有松の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている歴史的価値の高いものです。江戸時代の浮世絵にも描かれ、弥次さん喜多さんも眺めたその町並みには、卯建(うだつ)のある瓦屋根、塗籠造り(ぬりごめづくり)の壁など、江戸時代の旧家が数多く残り、伝統の絞りの技とともにその価値がいま改めて注目を集めています。

## 有松・鳴海絞りととは？

1608年、尾張藩が知多一帯に有松地域への移住を奨励する御触書を發布。その奨励に応じ最初に移住してきた8人の中に竹田庄九郎がいました。しかし、有松地域には耕作に適する土地もなく、移住者の生活は困窮。そんなとき、名古屋城築城のために九州・豊後から来ていた人々が着用していた絞り染めの衣装を目にした竹田庄九郎は、当時生産が始められていた三河木綿、知多木綿に絞り染めを施した「手ぬい」を街道のお土産として販売を始めました。これが、有松・鳴海絞りの起こりと言われてます。

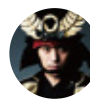


## 名古屋おもてなし武将隊® 徳川家康の日本遺産・有松の

## れきしがいとど

名古屋の歴史を知り尽くした、名古屋おもてなし武将隊®徳川家康公による、日本遺産・有松の“ちょっとニッチ”な歴史案内をお届けします。

### 第1話



有松の町並みは、  
国づくり成功の証じゃ。

有松・鳴海絞りは、江戸時代に九州・豊後から入ってきた新しい文化だったが、その後、一帯として大いに栄えたわけじゃ。当時、国の錢(国家予算)はほとんどが軍事的に使われておったが、わしはその錢を“まちづくり”へと転化していったわけじゃ。有松の町並みに、例えば「岡家住宅」のような大きな屋敷が建っているのは、わしが目指した街道づくり、ひいては国づくりが上手くいった証のようなものじゃな。

### 第2話



懐の深い名古屋で、  
文化が花開くのじゃ。



名古屋おもてなし武将隊®とは？

### 第3話



有松・鳴海絞りは、  
世界的に唯一の  
三次元的な反物じゃ。

着物がなぜ、優秀であるか。それは、平面だからじゃ。平面を体に添わせるからこそ、どんな立体にも合わせることができる良さがあるんじゃ。これは装い(ファッション)の世界ではなかなか珍しいことで、中でも有松・鳴海絞りは、反物の状態でも凸凹があり、どこか立体が想像(イメージ)できるんじゃ。世界的には「有松・鳴海絞りは、世界で唯一の三次元的な反物である」と称賛されておるそうじゃ。わしが着ればわしになり、信長殿が着れば信長殿になる、他の国や地域ではなかなか見ることができない装いじゃ。

### 第4話



懐の深い名古屋で、  
文化が花開くのじゃ。

名古屋は、器じゃ。分かりやすいのは、「なごやめし」じゃ。なごやめしは、今では20では足りぬほどの種類があるが、これには三重で生まれた天むすや、一宮のあさげ(モーニング)文化など、名古屋生まれでないものもたくさん含まれておる。それでも“なごやめし”として打ち出すことを認めてきた名古屋の懐の深さが文化を作ってきたわけじゃ。有松もまさにそうじゃ。九州・豊後で生まれた絞りが有松で花開いた。これも、名古屋の器としての役割を示す所以じゃらと思うておる。

### 第4話



有松は、世界に“藍色”を  
打ち出す発信基地じゃ。

日本遺産・有松の認定名称「藍染が風にゆれる町」とは、なかなか良い名が付いたと思うておる。有松には風が吹けば揺らめく暖簾があるように、実際に町を歩き、風を感じ、その様をぜひ見て欲しい。特に若い者たちは、己が自身を上手に撮るじゃろう。有松には、非常に“映える”場所がいくつもあつていい。若い者たちは、己が自身とともに上手に撮ってやって欲しい。今では絞り染めは多くが化学染料になっておるが、それでも“藍染”という名称が付いたわけで、有松は世界に日本特有の色“藍色=JAPAN BLUE”を発信していく場所として大いに期待しておる。

## 日本遺産・有松 meets

## 名古屋グランパス

日本遺産・有松の文化とストーリーが、  
地元のプロサッカーチーム「名古屋グランパス」と共鳴して、  
また新しい文化を生み出しました。

### TOPICS\_1

有松・鳴海絞りの伝統柄を取り入れた、  
4試合限定ユニフォームが登場！

名古屋グランパスが主催する夏のホームゲームシリーズ「鯨の大祭典」が、BEAMS JAPANが展開する「大名古屋展2021」と連動し、スペシャルユニフォームが制作されました。日本遺産・有松の名産、有松・鳴海絞りの伝統柄“道段絞り”をモチーフに、BEAMSデザイナー・水尾旅人氏がデザイン。「鯨の大祭典」対象4試合にて選手が着用するほか、スタジアム来場者にレプリカユニフォームがプレゼントされます。



名古屋グランパス「鯨の大祭典」  
選手用ユニフォーム  
左:フィールドプレイヤー  
右:ゴールキーパー

### TOPICS\_2

名古屋グランパスの“有松なひと”  
柿谷曜一朗選手に特別インタビュー！

知多から有松へ“移住”した竹田庄九郎が、新たな地で生み出した有松・鳴海絞り。そのストーリーにシンクロするように、2021年シーズン心機一転、名古屋グランパスへと“移籍”し新たなサッカー人生をスタートさせた柿谷曜一朗選手にお話を伺いました。



柿谷曜一朗選手、武田洋平選手

——先日、記者発表で有松までお越しいただきましたが、日本遺産・有松の町はいかがでしたか？

「まるで京都みたいな雰囲気やなど。名古屋にもこういう雰囲気の場所があるんやなど、僕にとっては新しい発見でした。コロナが落ち着いたら家族みんなで名古屋の魅力をつづつ知っていきたいと思っています。」

——竹田庄九郎の“移住”を機に誕生したのが「有松・鳴海絞り」ですが、柿谷選手も今シーズンは、“移籍”という大きな決断をされました。

「家族ができたことで、娘に楽しくサッカーをしている自分を見てもらいたい(記憶してもらいたい)という思いが強く芽生えました。それを考えたときに、どこを見渡しても知っているスタッフ、関係者に囲まれたセレッソ大阪にいて、いい意味でも悪い意味でも甘えが出てしまう。それによって自分の状況を苦しめてしまっている部分もあるなど…。もう一回、純粹にサッカーだけのことを考えて、サッカーを楽しむためには、環境を変えるのが一番だなと思い、名古屋グランパスへの移籍を選びました。今回の移籍は、“家族への思い”が一番大きくて。今年生まれた2人目の娘にも、‘パパはカッコいいサッカー選手やったんや’って理解してもらえるようになるまでサッカーを続けたいですな。」

——足先にスペシャルユニフォームを着ていただきました。

「個人的に、白と赤のユニフォームがめちゃくちゃ好きなんです。なので、このユニフォームは自分にドンピシャなユニフォームやなと、すごく気に入っています。ユニフォームは僕らの勝負服ですから、学生の頃に初めてのデートに着ていく服ぐらい大事なものです(笑)。2021年シーズンも現状は川崎フロンターレに走られてしまっていますが、それでも諦めずまだまだ自分たちが優勝する気持ちで残りのシーズンを過ごしたいですし、ACLやカップ戦、ひとつでも多く名古屋グランパスでタイトルを獲れるよう、自分のできることを100%ぶつきたいなと思います。」

## INFORMATION

### 名古屋グランパス「鯨の大祭典」

名古屋グランパスのホームタウンである名古屋市、豊田市、みよし市をはじめとする愛知県内各市町村と連携し、名古屋グランパスが主催する「スタジアムで街で、クラブと地域がひとつになる“大祭典”

(開催期間)2021年8月15日(日)~9月1日(水)

<https://nagoya-grampus.jp/>



BEAMS EYE  
街歩きのお供に、石窯焼きパンを。名物は「クリームパン」



ダーシェンカ 蔵

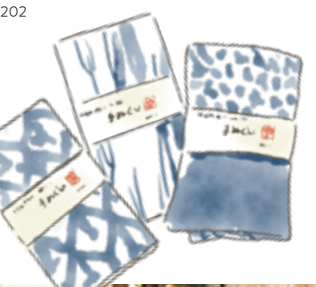
商家の古い蔵の中に、小さなパン屋が濃と佇む  
旧・紋り商家「神谷半次郎邸」の蔵の中に、ひっそりと小さなパン屋が一軒。おいしくて安心安全、手作りの薪窯焼きパンが常時40種類程度揃っています。和の趣ある店内に、ふわりと香るパンの甘い匂い。そこに在るだけでやさしい気持ちになれる不思議な空間です。  
名古屋市緑区有松2304 ☎052-624-0050  
10:00~17:00 月・火曜定休  
http://shigamapan.jp/



cucuri



今の時代と紋り文化を、密接につなぐ  
有松の地で卸製業を3代続けている「山上商店」が、若手女性デザイナーとともに打ち出したアパレルブランド(cucuri)。紋り、くくりのデザイン的面白さに着目し、現代のライフスタイルへと自然に落とし込まれたファッションアイテムが揃います。  
(cucuri)ドレスジャン 30,800円、ストレッツパンツ29,700円  
名古屋市緑区有松2408 ☎052-625-1202  
10:00~16:00 無休(年末年始のみ休み)  
https://www.cucuri-shibori.com/



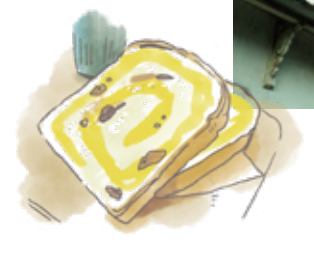
資料もない、誰も技法を知らない。5年の歳月をかけて復活した、豆紋り



# BEAMS meets

## 日本遺産・有松の

# ヒト・モノ・コト



BEAMS EYE  
店主の楽しいワイン談話を、時間を忘れてしまいます



わいん商アン・ペロ

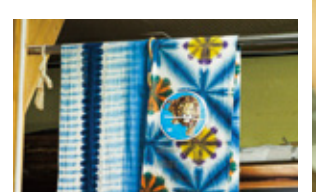
ワインを通して、人と人をつなぐ場所  
自転車(アンペロ)でフランスのワイナリーを巡ったオーナーが営む、ワイン専門店。実際に生産者と向き合ってきたオーナーが選ぶのは、名前や価格ではなく、オーナー自身心が動かされた1本ばかり。ワインを挟んだコミュニケーションが生まれる場所です。  
名古屋市緑区有松2624 ☎052-621-0027  
12:00~18:00(15時営業は金曜19:00~23:00、土曜18:00~)  
日・水曜定休 http://www.envelo.jp/



明治30年に有松へと移り住み、布張り絵付けの仕事を経て、有松鳴海紋りに関わったようになった張正。今では華やかで繊細な伝統柄「雪花紋り」で有名ですが、実は「張正は昭和30年、幻と言われた「豆紋り」の復活に成功した歴史的な場所なのです。それは、ある新聞記事から始まったそう。

鶴飼「昭和24年の中日新聞に「幻となった豆紋り」という記事が載ったそう。その記事を読んだ大原の手ぬぐい屋が有松(今田嘉兵衛商店)へ豆紋り復活の話を持ち込んだんです。ただ、有松には豆紋りを行っていた実績も資料も何もなく、うちは当時から「板締め」の雪花紋りがメインだったので、祖父が板締めで豆紋りを再現する方法の模索を始めたんです。ある日、知多(布土)の海水浴場に行った祖父が偶然豆紋りの手ぬぐいを持っている海水浴客を見て、初めて豆紋りの実物を手に取る機会に恵まれたそう。取り組み始めてから5年、昭和30年に板締めによる豆紋りの再現に成功しました。

張正 名古屋市緑区鳴海町米塚40 ☎052-621-1044 https://shorihariyo.jimdofree.com/



BEAMS EYE  
人の手によって生み出された伝統的な柄の数々。その繊細さと美しさに魅了されます



歴史を知って学んで、改めて魅力に気づく  
歴史的にも工芸的にも価値のある貴重な製品や資料を展示しているほか、地元の人々たちによる実演を通じて、地域に根付いた紋りの文化を発信しています。有松・鳴海紋りの歴史とその魅力を、未来へと伝えていく情報発信拠点。  
名古屋市緑区有松3008 ☎052-621-0111  
9:30~17:00(実演は16:30) 無休(臨時休館あり)  
https://shibori-kaikan.com/

有松・鳴海紋会館

生地を開いたときの、素晴らしい感動を  
60年以上続く染色工場「早恒染色」では、所要時間1時間程度の気軽な紋り体験から、糸と針を使う本格的なものまで、時間や経験に合わせて選べるメニューが用意されています。ハンカチや手ぬぐい、Tシャツに、自分なりの有松・鳴海紋りを表現して。  
名古屋市緑区有松1034 ☎052-621-3705  
9:00~17:00 日曜、祝日定休

早恒染色



BEAMS EYE  
開いたら、どういう柄になるのか?創造力を刺激される体験です

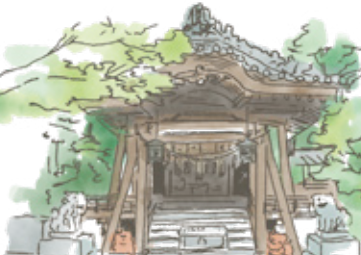


服部家住宅



時代を超えた建物だけの、力強くやさしい空気を  
寛政2年(1790年)に創業した紋り問屋で、屋号は「井桁屋」。主屋や座敷かなる店舗並居住居、井戸屋形、客室、土蔵計6棟、門並門長屋計2棟が県指定有形文化財になっています。有松の町並みを形成する重要な建物のひとつ。  
名古屋市緑区有松2313 ☎052-623-1235(井桁屋)  
10:00~17:00 不定休

BEAMS EYE  
有松には、ただそこに立っているだけで絵になる場所がたくさんあります



BEAMS meets

村瀬弘行さん(suzusan)



村瀬弘行さん (株式会社スズサン CEO/Creative Director)

suzusan factory shop

名古屋市緑区有松3026 ☎052-693-9634  
11:00~17:00 水・木曜定休  
(公式ウェブサイト)  
https://www.suzusan.com/ja/  
(公式オンラインストア)  
www.suzusan-onlinestore.com  
(Instagram)  
@suzusan\_factoryshop



有松で紋りを営む家系に生まれ、5代目にあたる村瀬弘行さんは、20歳の時にアーティストを志し海外へと留学。日本から離れたことで改めて家業(有松鳴海紋り)を見つめ直し、2008年にドイツで会社を設立。下請け業を軸としていた家業を、オリジナルブランド(suzusan)へと大胆にシフトチェンジさせました。ドイツで在住の村瀬弘行さんに、オンラインでお話を伺いました。  
村瀬「私も出身は名古屋ですが今は東京から名古屋を見ています。村瀬さんもやはり、外から有松を見たことが大きかったのではないのでしょうか?」  
佐野「私も出身は名古屋ですが今は東京から名古屋を見ています。村瀬さんもやはり、外から有松を見たことが大きかったのではないのでしょうか?」  
村瀬「モノの場所を移すことで価値は変わる。自分(有松)にいたときに見えていた有松・鳴海紋りのイメージが大きく変わりました。ヨーロッパの人たちの反応を見ていると、有松・鳴海紋りは「カッポイ」ものなんじゃないかと。佐野「場所を移すことで価値を変えて、そこ新たなストーリーを付ける。村瀬さんの経歴を見ていると、これからの有松・鳴海紋りもおもしろい可能性があるって期待してしまいます。村瀬「2023年、コロナウィルスによって世界経済が止まり、それによってモノの価値の見直しも行われていっていると感じています。同じモノを大量に早く作るのが正しかったのか?世界が足を止めた瞬間だったのかもかもしれません。そんな中で、手仕事による「不均等なもの」に新たな価値があるのではないかと(suzusan)の取り扱い店舗は日本が13%、ヨーロッパが75%を占めていますがこちらのお客様は、そこ不均等(不均等)を面白いと感じてくれています。」

コシの強い手打ちうどんを、古き良き旧家で

業100年を超える旧家の雰囲気にくつろぎながら、本格的な手打ちうどんを味わえます。ここの名物は、3年熟成させた自家製梅干しを使った「梅おろしうどん」。手打ちならではの圧倒的なコシの強いうどんを存分に味わって。  
名古屋市緑区有松2339 ☎052-624-5006  
11:00~15:00(LO14:30)、17:00~21:00(LO20:30)  
木曜、第3水曜定休  
http://www.mc.cmv.ne.jp/yugemu/

革紋り専門店 くくる



名古屋市緑区有松1035 ☎050-5437-4136  
10:00~17:00 金・土・日曜のみ営業  
https://kukuleather.com/

手打ちめん処 寿限無茶屋



梅おろしうどん(850円)

革を絞るといって、紋りの新たな表現方法を  
有松・鳴海紋りの技法を革に施すことにより、紋りの新たな可能性に挑戦。括りはもちろん、染色、デザイン、縫製に至るまで自社で行うこだわりにより、オリジナルテイラー溢れるアイテムを次々に生み出しています。  
名古屋市緑区有松1035 ☎050-5437-4136  
10:00~17:00 金・土・日曜のみ営業  
https://kukuleather.com/

場所を移すだけでなく、価値は変わる。モノを起点にした、ヒトと文化の循環へ

を面白く感じてもらっています。佐野「僕らにもその役割があると思いますが、もっと日本でも、海外で評価される有松・鳴海紋りにとって広げて欲しい、伝えて欲しいですね。日本人は、逆輸入のようなストーリーのあるモノが好きだと思いますし、何よりもモノに説得力が生れます。」  
村瀬「5年間は日本で販売しないか?決めて始めたブランドだったので、それは新しい価値を認めてくれる新しい使い手がなければ難しいだろうなと思っていました。パリの有名なセレクトショップで取り扱われて、有名ブランドとコラボした、そんな事実こそ新しい使い手に目を向けてもらえるきっかけになる。新しい使い手と情報収集能力が高い(世代)は、驚くほどに情報収集能力が高いです。」

## 大名古屋展

BEAMS JAPANが愛知・名古屋を盛り上げる「大名古屋展2021」

日本の魅力を発信する「BEAMS JAPAN」が、地元の人気者たちとタッグを組んでその魅力を発信する「大名古屋展2021」が、ビームス名古屋をはじめ全国4カ所の会場にて開催。名古屋グランパス、中井ドラゴンズ、トヨタ自動車ヴェルブリットとのトリプルコラボアイテムをはじめ、日本遺産・有松の名産品、有松紋りを取り上げたアイテムも並びます。「BEAMS JAPAN」がディレクションする「新しい愛知・名古屋」との出会いを楽しんでください。

- (場所・開催期間)  
○ビームス名古屋(ラジックF イベントスペース)  
2021年8月14日(土)~9月5日(日) ※予定  
○ビームスジャパン(新宿)  
2021年8月14日(土)~9月14日(火) ※予定  
○ビームスジャパン(渋谷)  
○ビームスジャパン(京都)  
2021年8月14日(土)~9月7日(火) ※予定

「大名古屋展2021」特設サイトはこちら



INFORMATION